

200735022 B-2

厚生労働科学研究費補助金

(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業)

医薬品添加物の安全性情報の活用に関する研究

平成 18 年度～19 年度 総合研究報告書

主任研究者 戸部満寿夫

平成 20 年(2008 年)3 月

目 次

- I. 総合研究報告書
医薬品添加物の安全性情報の活用に関する研究
戸部満寿夫

厚生労働科学研究費補助金
(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業)
総合研究報告書

医薬品添加物の安全性情報の活用に関する研究

主任研究者 戸部満寿夫 日本医薬品添加剤協会
安全性委員会委員長

研究要旨

本研究は平成15年～17年に検討した医薬品添加物の安全性に関するデータベースの活用としてこれを広く公表し、医薬品の安全性の確保に貢献することである。

医薬品メーカーが自主的に医薬品添加物を表示することで、使用する人及び医薬品を処方する医師、薬剤師など多くの人が医薬品の構成を知ることができる。

医薬品に使用されている添加物は製剤中の使用範囲で安全であることで使用されているが、それがどのように安全であるかなどの詳細な情報を手軽に知る手段はない。

そこで、医薬品添加物の安全性に関する資料・情報を公開することで医薬品に係わる規制当局、医薬品業界、添加物業界、医療機関、薬局関係者等が医薬品添加物の安全性に関する情報を広く共有することができる。

なお、当面は一般に医薬品を利用する者が直接参照するデータベースとはしないが、専門家が参照することにより、一般に医薬品を利用する者もその情報を享受することとなる。

公開の方法については、平成15年～17年の厚生労働科学研究「医薬品添加物の安全性データベース等の国民向け情報提供のあり方に関する研究」の研究結果に必要な部分を追加して、データベースを専門的な観点からみて、各分野に正確に伝わるようにすることを目的に検討した。

18年度はインターネットに掲載するための資料の整備や各資料のHTML形式への書換え、さらにFDAの医薬品添加物の製剤に使用している状況の調査を行った。HTML形式へ変換した成分数は320成分、内、文献見直しなど加筆修正した成分数は127成分であった。

また、検索機能を付与して、例えば経口毒性試験の検索など投与経路毎の検索、LD₅₀値の検索などが行えるようにした。

19年度は18年度に行った127成分のサイト上でのレイアウト修正に加え、残りの成分の見直しとHTMLへの書換えを進めて、掲載可能な成分数を495成分とした。

同時にインターネット環境の整備や実際の運用時での問題点をあげてそれぞれに問題を解決していった。さらに、ホームページ規約をつくり、運用後に発生する可能性の問題点への対応を図った。

分担研究者

木嶋敬二（日本医薬品添加剤協会）

手島邦和（日本医薬品添加剤協会）

A. 研究目的

本研究は平成15年から17年度までに構築した、医薬品添加物の安全性に関するデータベースの公表に対して、関連団体に対するニーズの調査・解析を行う。これをもととしてデータベースの公表に対する基本を決め、データベースを公表することにより、医薬品の安全性確保に貢献することを目的とする。

広く公表することは、医薬品添加物の安全性に関して関連する機関の間で情報の共有化を図ることができ、医薬品に表示された添加物についての安全性に関する考え方を共有化することができる。医薬品に関係する者がそれぞれの立場での利用が容易になることで医薬品の安全性に関しての意識が大きくなる。

また、インターネットで情報を得ることによって日常的に医薬品添加物の安全性を確認することができる。

B. 研究方法

1) 安全性データベースを公表できる様、専門的な立場から検討を行う。各成分について公定書等との関連情報や根拠文献の整理など行う。関連情報として、各成分の医薬品に配合するときの用途、投与量、投与経路の最新情報を調査、収集して成分毎に情報として追記した。

また公表する資料においては各成分の安全性の表現の均質化を図ると共に、内容の充

実化を図った。

2) データベースの掲載用のフォーマットを作成する。掲載用の言語である、html(Hyper Text Markup Language)に書換える前に、あらかじめ記載する項目の順番、データ項目の統一、表現法などを統一する。データをサーバーにアップロードするため各データをhtml形式に書き直し、更に検索機能を付加できる書式とし公表に際して利用する人の利便性を図った。

本データベースの検索機能の検討を行った。例えば「NAMAZ」などの検討を行った。しかし、フリーソフトでありながら検索機能に優れ、使いやすい『Msearch』を採用することとした。

3) ホームページ上に掲載するためのシステム設計、データベース掲載の環境整備、アクセス動作性の検討などを行う。

データをサーバーにアップロードするためのシステム設定を行った。

4) 日本医薬品添加剤協会のホームページ上に公表するため、ホームページ作成委員会の設置による、掲載における技術的な項目を検討した。

5) 公表にあたり、公開に関するホームページ規約を設定し公表後に起こりうる問題の対応を検討した。

さらに、この規約を当データベースに入る前に読んでもらい同意した人のみが閲覧できるようにした。

6) さらに公表時におけるインターネット画面の使い勝手が良く、検索サイトから直接、当ホームページにアクセスした場合も、アクセス者が、どこが運営するホームページかが分るように、全てのページのヘッダ

一及びフッターに「日本医薬品添加剤協会」を記載するようにして責任の所在を明らかにする。

C. 研究結果

1) 見直しのための情報収集

各成分への付加情報として、医薬品での用途情報を付加することとした。CAS 番号の確認、収載公定書、新たに公表された、投与経路、用途、最大投与の調査や 15 局方で改訂された成分名がある場合は改定した名称への変更を行った。

2) HLML 書換えのための準備と書換え 書換えの準備

① ページ (ファイル) 作成

テキストエディターを使用して、Windows の“メモ帳”を使用した。

② 書き換え

PC の作業

スタート・・・>プログラム・・・>アクセサリ・・・>メモ帳 という手順で“メモ帳”起動させる。

例として、「アクリル酸エチル・メタクリル酸メチルコポリマー分散液」についての HTML 記載例は次のとおりである。

```
<HTML>
```

```
<HEAD>
```

```
<META http-equiv="Content-Type"
```

```
content="text/html; charset=x-sjis">
```

```
<TITLE>アクリル酸エチル・メタクリル酸メチルコポリマー分散液</TITLE>
```

(アクリル酸エチル・メタクリル酸コポリマー分散液のタイトルとなる)

さらに、シートの内容設定、文字のフォントや色、リンクの色などをそれぞれ指定して記述ルールに従って作成していく。

3) 3年間で作成したデータベースの見直しデータごとに、「もと」とした文献に記載されている数値との違いはないかの調査及び表現が適切であるかを前年度に調べたが、さらに調べきれていない成分について調べ、再調査が必要と思われるものについても再度調べた。

その他、誤字脱落のチェックも行った。掲載する成分数は 495 成分である。検索機能の更新も行った。

4) 公開にあたり、システムの動作確認を行った。

実際にサーバー上での運営の前に、システムが適切に動くかを確認して問題がないことがわかった。

5) サーバー上にシステムをおいて動作の確認を行った。

接続する可能性のあるブラウザとして代表的な、「インターネットエクスプローラー (Microsoft Internet Explorer)」、「ファイアフォックス (Mozilla Firefox)」、「ネットスケープナビゲーター (Netscape Navigator)」、「サファリ (Safari MAC PC 使用者)」上での動作確認を行い問題なく接続可能であることと、文字化けのないことを確認した。また使用する OS の種類 Windows XP, Windows Vista, Mac OS の動作確認を行い OS の種類によらず読み取れることが確認できた。

D. 考察

平成 15~17 年度に医薬品添加物の安全性データを公表するために、個々のデータを、システム上に移して、動作確認をおこなった。これと並行して前年度に引き続いて専門的な立場から記載内容の検討を行った。

また、付加情報の追加、例えば、各成分の用途や、投与経路と最大投与量の最新の情報、薬事法の改正に伴う成分名の変更への対応が出来たことは、実務的にはタイミングが良かったと考える。

また検討内容は前年度と同様に分担研究者が表現統一を図ることで作業を進めた。掲載方針は引用文献が明らかでない資料については掲載しないこととした。この方針により、掲載内容についての責任を明らかに出来ることになる。

インターネットの掲載においては、サーバーにシステムをおいた場合においての、動作が確認を異なるブラウザ、OS によらず接続が可能であり、文字化けがないことが確認できた。これにより、利用する人の接続環境や使用 OS によらず、閲覧することが可能となった。

E. 結論

収載件数は 495 成分であり、この成分を医薬品添加剤協会のホームページ上にデータベースとし閲覧できるようにした。アクセスにあたり当分の間、医薬品添加剤協会の会員及び当協会が適切であると思われる人に、ID 及びパスワードを発行することで閲覧が可能となるようにする。その後については、閲覧状況及び閲覧者の評価等を調べて閲覧範囲を検討することとする。

F. 健康被害情報

なし。

G. 研究発表

なし。

H. 知的財産権の出願・登録状況 なし

- 1 アクリル酸・メタクリル酸メチルコポリマー分散液
- 2 アジピン酸
- 3 アジピン酸ジイソブチル
- 4 アジピン酸ジイソプロピル
- 5 アジピン酸ジオクチル
- 6 アジピン酸ポリエステル
- 7 亜硝酸ジシクロヘキシルアミン
- 8 亜硝酸ナトリウム
- 9 アスコルビン酸
- 10 アセチルトリプトファン
- 11 アセチルトリプトファンナトリウム
- 12 アセトアニリド
- 13 アセトン
- 14 アプロチニン液
- 15 アミノアルキルメタクリレートコポリマーRS
- 16 アミノ安息香酸エチル
- 17 アミノエチルスルホン酸
- 18 アラビアゴム
- 19 アラビアゴム末
- 20 アラントイン
- 21 アラントイン・dl-ピロリドンカルボン酸ナトリウム
- 22 アルキルアリルポリエーテルアルコール
- 23 アルキルナフタレンスルホン酸ナトリウム液
- 24 アルギン酸
- 25 アルギン酸ナトリウム
- 26 アルギン酸プロピレングリコール
- 27 アルファチオグリセリン
- 28 アルブミン
- 29 アルモンド油
- 30 安息香酸
- 31 安息香酸ナトリウム
- 32 安息香酸ベンジル
- 33 アンソッコウ
- 34 イオウ
- 35 イソシアヌール酸
- 36 イソステアリルアルコール
- 37 イソステアリルパルミテート
- 38 イソステアリン酸
- 39 イソステアリン酸ヘキサデシル
- 40 イソプロパノール
- 41 イソ吉草酸イソアミル
- 42 イノシトール
- 43 イプシロン-アミノカプロン酸
- 44 イリス根末
- 45 インジゴカルミン
- 46 ウコン抽出液
- 47 ウルソデオキシコール酸
- 48 液化石油ガス
- 49 液状ラノリン
- 50 液糖
- 51 エステルガム
- 52 エタノール
- 53 エチルセルロース
- 54 エチルマルトール
- 55 エチル尿素
- 56 エチレンカーボネート
- 57 エチレングリコール
- 58 エチレンジアミン
- 59 エデト酸カルシウム二ナトリウム
- 60 エデト酸四ナトリウム
- 61 エーテル
- 62 エリスリトール
- 63 エリソルビン酸
- 64 エリソルビン酸ナトリウム
- 65 塩化亜鉛
- 66 塩化亜鉛溶液
- 67 塩化アルミニウム
- 68 塩化カルシウム
- 69 塩化セチルピリジニウム
- 70 塩化第二鉄
- 71 塩化ナトリウム
- 72 塩化ベンザルコニウム
- 73 塩化ベンザルコニウム液
- 74 塩化ベンゼトニウム
- 75 塩化ベンゼトニウム液
- 76 塩化メチルロザニリン
- 77 塩酸
- 78 塩酸アルギニン
- 79 塩酸アルキルジアミノエチルグリシン液
- 80 塩酸グルコサミン
- 81 塩酸クロルヘキシジン
- 82 塩酸システイン
- 83 塩酸トリエタノールアミン
- 84 塩酸メプリルカイン
- 85 塩酸リジン
- 86 塩酸リドカイン
- 87 黄酸化鉄
- 88 黄色ワセリン
- 89 黄色三二酸化鉄
- 90 オキシベンゾン
- 91 オクチルデシルトリグリセリド
- 92 オクチルドデカノール
- 93 オクチルフェノキシエトキシエチルエーテル
スルホン酸ナトリウム
- 94 オリブ油
- 95 オレイルアルコール
- 96 オレイン酸
- 97 オレイン酸エチル
- 98 オレイン酸オレイル
- 99 オレイン酸デシル
- 100 オレンジ
- 101 オレンジエキス
- 102 オレンジエッセンス
- 103 オレンジ油
- 104 カアトレジン
- 105 カカオ脂
- 106 加水分解ゼラチン末
- 107 加水ラノリン
- 108 カゼイン製ペプトン
- 109 カプリル酸ナトリウム
- 110 カプリン酸
- 111 カラヤガム末
- 112 カラギーナン
- 113 カルバコール
- 114 カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム
- 115 カルボキシメチルスターチナトリウム
- 116 カルミン
- 117 カルメロースカリウム
- 118 カルメロースカルシウム
- 119 カルメロースナトリウム
- 120 カロチン液
- 121 カロペプタイド
- 122 還元麦芽糖アメ

- 123 還元ラノリン
124 感光素201号
125 含水二酸化ケイ素
126 含水無晶形酸化ケイ素
127 乾燥クロレラ
128 乾燥酵母
129 乾燥水酸化アルミニウムゲル
130 カンゾウ
131 カンゾウエキス
132 カンゾウ粗エキス
133 キサンタンガム
134 キシリトール
135 希塩酸
136 吸着精製ラノリン
137 銀箔
138 グアーガム
139 クエン酸
140 クエン酸カルシウム
141 クエン酸トリエチル
142 クエン酸ナトリウム
143 グリチルリチン酸
144 グリチルリチン酸三ナトリウム
145 グリチルリチン酸二アンモニウム
146 グリチルリチン酸二カリウム
147 グリチルリチン酸モノアンモニウム
148 グリチルレチン酸
149 グルコン- δ -ラクトン
150 グルコン酸
151 グルコン酸カルシウム
152 グルコン酸クロルヘキシジン液
153 グルコン酸ナトリウム
154 グルコン酸マグネシウム
155 クレアチニン
156 クレゾール
157 クレゾール酸
158 クロスカルメロースナトリウム
159 クロスポビドン
160 クロルヒドロキシアルミニウム
161 クロロクレゾール
162 ケイ酸アルミン酸マグネシウム
163 ケイ酸カルシウム
164 ケイ酸マグネシウム
165 ケイ酸マグネシウムアルミニウム
166 軽質酸化アルミニウム
167 軽質無水ケイ酸
168 結晶セルロース
169 ゲンチジン酸エタノールアミド
170 高度精製卵黄レシチン
171 合成ケイ酸アルミニウム
172 合成ケイ酸マグネシウムナトリウム
173 コハク化ゼラチン
174 コポリビドン
175 ゴマ油
176 コレステロール
177 コロイド性含水ケイ酸アルミニウム
178 コロジオン
179 サッカリン
180 サフラワー油
181 サフラワー油脂肪酸
182 サラシミツロウ
183 サリチル酸エチレングリコール
184 サリチル酸メチル
185 三二酸化鉄
186 酸化カルシウム
187 酸化チタン
188 酸化亜鉛
189 ジイソプロパノールアミン
190 ジエタノールアミン
191 ジオクチルソジウムスルホサクシネート
192 ジステアリン酸ポリエチレングリコール
193 ジヒドロキシアルミニウムアミノアセテート
194 ジブピレングリコール
195 ジブチルヒドロキシトルエン
196 脂肪酸エステルポリオキシエチレン誘導體
197 自己乳化型モノステアリン酸グリセリン
198 ジメチルエーテル
199 ジメチルシロキサン・メチル(ポリオキシエチレン)シロキサン共重合体
200 ジメチルポリシロキサン
201 ジメチルポリシロキサン(内服用)
202 ショウキョウ油
203 酒石酸
204 酒石酸ナトリウムカリウム
205 酒石酸水素カリウム
206 臭化カリウム
207 臭化カルシウム
208 臭化ナトリウム
209 重質無水ケイ酸
210 樟脳白油
211 硝酸カリウム
212 シリコーン樹脂エマルジョン
213 ジンコウ末
214 親油型モノオレイン酸グリセリン
215 親油型モノステアリン酸グリセリン
216 スクワラン
217 スクワレン
218 酢酸
219 酢酸カリウム
220 酢酸カルシウム
221 酢酸トコフェロール
222 酢酸ナトリウム
223 酢酸フタル酸セルロース
224 酢酸亜鉛
225 水酸化アルミナマグネシウム
226 水酸化アルミニウム
227 水酸化アルミニウムゲル
228 水酸化マグネシウム
229 水素添加ダイズリン脂質
230 水素添加ラノリンアルコール
231 水素添加ロジングリセリンエステル
232 ステアリンアルコール
233 ステアリン酸
234 ステアリン酸アルミニウム
235 ステアリン酸カリウム
236 ステアリン酸カルシウム
237 ステアリン酸ナトリウム
238 ステアリン酸ポリオキシル40
239 ステアリン酸ポリオキシル45
240 ステアリン酸ポリオキシル55
241 ステアリン酸マグネシウム
242 ステアリン酸亜鉛

- 243 精製カンゾウエキス末
 244 精製ラノリン
 245 精製大豆レシチン
 246 精製白糖
 247 石灰水
 248 石油ベンジン
 249 セタノール
 250 セチルアルコール脂肪酸エステル
 251 セチル硫酸ナトリウム
 252 セッコウ
 253 セトステアリルアルコール
 254 セトステアリルアルコール・セトステアリル硫酸ナトリウム混合物
 255 セトステアリルアルコール・ラウリル硫酸ナトリウム混合物
 256 セトマクロゴール
 257 セバシン酸ジイソプロピル
 258 セバシン酸ジエチル
 259 ゼラチン
 260 ゼラチン加水分解物
 261 セラック
 262 セレシン
 263 センブリ
 264 疎水性無水ケイ酸
 265 ソルビン酸
 266 ソルビン酸カリウム
 267 ダイズ硬化油
 268 ダイズ油
 269 大豆レシチン
 270 第三リン酸カルシウム
 271 タウマチン
 272 タルク
 273 炭酸アンモニウム
 274 炭酸プロピレン
 275 炭酸水素カリウム
 276 タンニン酸
 277 チオグリコール酸
 278 チオグリコール酸ナトリウム
 279 チオシアン酸カリウム
 280 チオリンゴ酸ナトリウム
 281 チオ硫酸ナトリウム
 282 チメロサール
 283 チモール
 284 中鎖脂肪酸トリグリセリド
 285 沈降炭酸カルシウム
 286 デスオキシコール酸ナトリウム
 287 テトラオレイン酸ポリオキシエチレンソルビット
 288 デヒドロ酢酸
 289 デヒドロ酢酸ナトリウム
 290 低置換ヒドロキシプロピルセルロース
 291 天然ケイ酸アルミニウム
 292 デンブリン酸エステルナトリウム
 293 糖酸カルシウム
 294 トウヒ油
 295 トウモロコシデンブ
 296 トコフェロール
 297 トラガント
 298 トラガント末
 299 トリアセチン
 300 トリイソオクタン酸グリセリン
 301 トリイソステアリン酸ポリオキシエチレングリセリル
 302 トリイソプロパノールアミン
 303 トリエタノールアミン
 304 トリエチレングリコール
 305 トリオレイン酸ポリオキシエチレンソルビタン(20E.O.)
 306 トリカプリリン
 307 トリクロロエタン
 308 トリステアリン酸ソルビタン
 309 トリステアリン酸ポリオキシエチレンソルビタン
 310 トリブシン
 311 トロメタモール
 312 豚脂
 313 ナタネ油
 314 ナトリウムホルムアルデヒドスルホキシレート
 315 ニコチン酸ベンジルエステル
 316 二酸化ケイ素
 317 乳酸
 318 乳酸アルミニウム
 319 乳酸エチル
 320 乳酸セチル
 321 乳糖
 322 尿素
 323 濃グリセリン
 324 濃塩化ベンザルコニウム液50
 325 ノナン酸ワニリルアミド
 326 ノニルフェノキシポリオキシエチレンエタン硫酸エステルアンモニウム
 327 白色セラック
 328 白糖
 329 パラオキシ安息香酸ブチル
 330 パラオキシ安息香酸メチル
 331 パラオキシ安息香酸イソプロピル
 332 パラオキシ安息香酸エチル
 333 パラフィン
 334 パラホルムアルデヒド
 335 パルミチン酸
 336 パルミチン酸イソプロピル
 337 パルミチン酸セチル
 338 ヒアルロン酸ナトリウム
 339 ビターエッセンス
 340 ビタチョコレート
 341 ヒドロキシプロピルスターチ
 342 ヒドロキシプロピルセルロース
 343 ヒドロキシプロピルメチルセルロース2208
 344 ヒドロキシプロピルメチルセルロースアセテートサクシネート
 345 ヒドロキシプロピルメチルセルロースフタ

- 346 ヒドロキノン
 347 ヒマシ油
 348 ヒマワリ油
 349 ピロ亜硫酸ナトリウム
 350 フィチン酸
 351 フィトステロール
 352 フェニルエチルアルコール
 353 フェノール
 354 フェノールレッド
 355 フェロシアン化カリウム
 356 フェンプロバメート
 357 フタル酸ジエチル
 358 フタル酸ジブチル
 359 ブチルフタリルブチルグリコレート
 360 ブドウ糖
 361 部分アルファー化デンブ
 362 フマル酸
 363 フマル酸ステアリルナトリウム
 364 フマル酸一ナトリウム
 365 プルラン
 366 プロピオン酸
 367 プロピオン酸ナトリウム
 368 ヘキシルデカノール
 369 ヘスベリジン
 370 ペパーミントエッセンス
 371 ペパーミントパウダー
 372 ベヘニルアルコール
 373 ベヘン酸
 374 ペルーバルサム
 375 ベンゾトリアゾール
 376 ホウ砂
 377 ホウ酸
 378 ホウ酸アンモニウム
 379 ポビドン
 380 ポビドンK17
 381 ポリオキシエチレン(1)ポリオキシプロピレン(1)セチルエーテル
 382 ポリオキシエチレン(10)ポリオキシプロピレン(4)セチルエーテル
 383 ポリオキシエチレン(105)ポリオキシプロピレン(5)グリコール
 384 ポリオキシエチレン(120)ポリオキシプロピレン(40)グリコール
 385 ポリオキシエチレン(160)ポリオキシプロピレン(30)グリコール
 386 ポリオキシエチレン(17)ポリオキシプロピレン(23)セチルエーテル
 387 ポリオキシエチレン(200)ポリオキシプロピレングリコール(70)
 388 ポリオキシエチレン(3)ポリオキシプロピレン(17)グリコール
 389 ポリオキシエチレン(54)ポリオキシプロピレン(39)グリコール
 390 ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル
 391 ポリオキシエチレンオレイルアミン
 392 ポリオキシエチレンオレイルエーテルリン酸ジエタノールアミン
 393 ポリオキシエチレンステアリルエーテルリン酸
 394 ポリオキシエチレンセチルエーテル
 395 ポリオキシエチレンセチルエーテルリン酸ナトリウム
 396 ポリオキシエチレンセトステアリルエーテル
 397 ポリオキシエチレンソルビタンモノラウレー
 398 ポリオキシエチレンヒマシ油
 399 ポリオキシエチレンラノリン
 400 ポリオキシエチレンラノリンアルコールエーテル(5E.O.)
 401 ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油
 402 ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油10
 403 ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油100
 404 ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油20
 405 ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油40
 406 ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油5
 407 ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油50
 408 ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油60
 409 ポリソルベート40
 410 ポリソルベート65
 411 ポリビニルアルコール(完全けん化物)
 412 ポリビニルアルコール(部分けん化物)
 413 ポリプロピレングリコール2000
 414 ポリ塩化ビニル
 415 ホルマリン
 416 マクロゴール1000
 417 マクロゴール1500
 418 マクロゴール1540
 419 マクロゴール200
 420 マクロゴール300
 421 マクロゴール400
 422 マクロゴール4000
 423 マクロゴール600
 424 マクロゴール6000
 425 マルチトール
 426 マルチトール液
 427 マルトース
 428 マレイン酸
 429 マロン酸
 430 ミリスチルアルコール
 431 ミリスチン酸
 432 ミリスチン酸イソプロピル
 433 ミリスチン酸オクチルドデシル
 434 ミリスチン酸セチル
 435 ミリスチン酸ミリスチル
 436 無水ケイ酸水加物
 437 無水フタル酸
 438 メグルミン
 439 メタケイ酸アルミン酸マグネシウム
 440 メタスルホ安息香酸ナトリウム
 441 メタノール
 442 メタンスルホン酸
 443 メチルイソブチルケトン
 444 メチルエチルケトン
 445 メチルセルロース
 446 メチルフェニルポリシロキサン
 447 綿実油

- 448 モノエタノールアミン
- 449 モノステアリン酸アルミニウム
- 450 モノステアリン酸グリセリン
- 451 モノステアリン酸プロピレングリコール
- 452 モノステアリン酸ポリエチレングリコール
- 453 モノラウリン酸ポリエチレングリコール
- 454 モノラウリン酸ポリオキシエチレンソルビット
- 455 薬用炭
- 456 ヤシ油
- 457 ヤシ油脂肪酸ジエタノールアミド
- 458 ヨウ化カリウム
- 459 ヨウ化ナトリウム
- 460 ラウリルアルコール
- 461 ラウリルジメチルアミンオキシド液
- 462 ラウリル硫酸ナトリウム
- 463 ラウリン酸ジエタノールアミド
- 464 ラウリン酸ヘキシル
- 465 ラウロイルサルコシンナトリウム
- 466 ラウロマクロゴール
- 467 酪酸リポフラビン
- 468 ラノリンアルコール
- 469 ラノリン脂肪酸イソプロピル
- 470 卵黄リン脂質
- 471 卵白アルブミン
- 472 リドカイン
- 473 リノール酸イソプロピル
- 474 リノール酸エチル
- 475 リポフラビン
- 476 硫酸オキシキノリン
- 477 硫酸カリウム
- 478 硫酸プロタミン
- 479 硫酸亜鉛
- 480 硫酸銅
- 481 リン酸
- 482 リン酸ジセチル
- 483 リン酸ナトリウムポリオキシエチレンラウリルエー
- 484 リン酸ポリオキシエチレンオレイルエーテル
- 485 リン酸マンガンアンモニウム
- 486 リン酸リポフラビンナトリウム
- 487 リン酸一水素カルシウム
- 488 リン酸一水素ナトリウム・七水和物
- 489 リン酸水素カルシウム
- 490 リン酸二水素カルシウム
- 491 ロジン
- 492 ワセリン
- 493 1,2,6-ヘキサントリオール
- 494 1,3-ブチレングリコール
- 495 m-クレゾール